

# すわみつえ通信

No.101 2019年 12月2日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

## 福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

### 12月市議会 定例会始まる



鴻巣市議会 本会議場（本庁舎5階）

台風19号の災害復旧に係る補正予算などを審議

鴻巣市議会12月定例会は、11月29日（金）に始まりました。12月18日（水）までの20日間の会期で開催します。

上程された議案のうち、人権擁護委員の推薦、台風19号の災害復旧に係る補正予算、中学校給食センター建て替え工事の契約、乗り合い型デマンドタクシー開始のための債務負担行為の追加等議案8件は委員会付託をせず、2日目（12月4日）の本会議で審議採決します。

地方公務員法と地方自治法の改正で2020年4月より会計年度任用職員制度が新設されます。そのための条例改定、放課後児童クラブの指定管理に関する議案、一般会計補正予算・特別会計補正予算などの議案14件と合わせ、全部で22件の議案となります。

市民の利便性に適うものかどうか、しっかりと審議してまいります。

### 不登校について 教育委員会と懇談

11月25日（月）「不登校・ひきこもりを考える会 鴻巣」と教育委員会との懇談に同席させていただきました。不登校が全国的に増えていますが、鴻巣でも増加傾向にあることが数字で示されました。

学校に行けない子どもたちの学校内外での居場所や、中学校だけでなく小学校にも、さわやか相談室の設置をしてほしい、様々な社会資源の情報の提供などを求めました。学校に行くことができずに親子ともども悩ま苦しんでいることが当事者の方から涙ながらに語られました。

学校の先生方の多忙は大きな社会問題となっています。子どもたちひとりひとりに目が行き届く教育の現場にすることが必要なのではないでしょうか。ひとりの子どもも置いていかない社会が求められていると改めて感じました。



### 今年も子育てフェスティバルでボランティア



「子育てサロンって？」「どんな子育て情報があるの？」子育て支援団体による事業の紹介と体験ができるようになっていきます。

赤ちゃんから幼児まで、手形と足形を入れてクリスマスブーツをつくりました。

### 前川喜平さん・本田宏さん 対談・講演会に参加

総理と同年ふたりの怒り

生きててよかったと思える社会に



11月29日（金）、浦和「ミニミニセンター」で「生きててよかったと思える社会に」総理と同年ふたりの怒り」と題した講演・対談（前川喜平さん・前文科省事務次官）、本田宏さん・外科医）を聞きました。

今また教育勅語を持ち出す安倍政権を一刻も早くやめてもらおうと一致したふたりの講演に励まされました。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

（月）吹上駅南口 （火）北鴻巣駅東口 （水）北鴻巣駅西口 （木）吹上駅北口 （金）鴻巣駅西口



# COP25あす開幕 温室効果ガス削減目標引き上げ機運へ

日本にも豪雨や大型台風などの深刻な被害を与えている地球温暖化の対策を話し合う国際会議、国連気候変動枠組み条約第25回締約国会議（COP25）が12月2日からスペインのマドリッドで始まります（議長国はチリ）。後戻りのできない危機への対応を市民社会が強く求める中、温室効果ガス削減目標の引き上げへの機運が高まるかが注目されます。

## 「パリ協定」は来年運用

2015年に採択された20年以降の地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」は来年、運用が始まります。離脱通告したアメリカを含め、協定に参加する国は196カ国。日本でも電力、工業、農林水産、運輸、オフィス、家庭などあらゆる分野で省エネ設備やシステムの導入が推進されます。COP25では複数の国が協力して排出量削減に取り組む仕組みづくりが主な焦点になる見込みです。

COPで政府関係者以上に多く集まるのが、削減を求める市民や削減に積極的に取り組む自治体、企業です。石炭火力発電の廃止を求める行動は、主要7カ国で唯一石炭火力を進める日本に向くことが予想されます。会議直前の29日には世界中の若者が対策を求めて気候マーチを行い、日本でも25都府県で行動しました。

## 問われる日本の目標

日本の目標は2030年までに26%削減（13年比）です。各国の目標を合わせても3度上昇するという計算は、日本が26%削減を達成することが前提です。守れなければ3度よりさらに上昇するリスクを日本が提供することを意味し、大問題です。

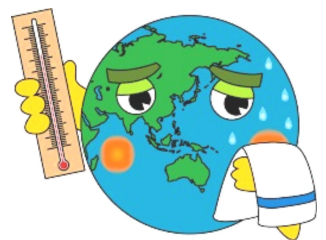
昨年の西日本豪雨や今年の台風では大規模な被害を受けました。気候変動が進んだ将来の被害を学習してしまつたといえます。1度の上昇でもこのような事象が発生し得ます。

温室効果ガスを削減することが根本的解決の方法です。各国が削減目標を引き上げる中、日本は据え置いたままです。世界全体で削減しなければならず、世界の大きな排出国に声をかけるとき、「私たちは難しいがあなたは頑張ってください」という国に誰が聞く耳を持つでしょうか。まず自国がやらなければいけないのです。「原発を再稼働できないから」という言い訳を続け、対策をしてこなかった。それをグレタ・トゥンベリさんたちに「よくもそんなこと」と批判されたことを理解するべきです。

日本が「自国も頑張るから他の国も頑張ろう」という姿勢でCOPに臨んでいるかどうか、注目してほしいと思います。

（しんぶん赤旗 12月1日付）

## 潮流



オゾン層の穴のせいで私は日光を浴びるのが怖い、息をすることさえも死に絶えていく無数の動物や植物。こんな現実を目の当たりにしながら、あなたたちは時間も解決策もあるかのように振る舞っている▼1992年にブラジルで開かれた地球サミット。カナダから来た当時12歳のセバン・スズキさんが世界に向けて発信したスピーチは今も「伝説」として語りつがれています▼地球で生きるものは一つの大家族。みんながその一員であり、一つの目標に向かつて心をつなぐ行動しなければならぬ。彼女の訴えは日本にも届きました。京都で環境問題にとりくんでいる清間笑奈（きよま えみな）さんも衝撃を受けた一人です。▼人びとがゆきかう夕暮れの古都の街。思い思いのプラカードを手にした若者たちの声が響きました。「自然エネルギー100%！ええやんええやん。ゴミを減らそう。節電しよう。気候を変

しんぶん赤旗 11月26日付

## CO<sub>2</sub>濃度が史上最高

世界気象機関（WMO）は25日、代表的な温室効果ガスである二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の世界平均濃度が2018年は407.8ppmとなり、観測史上最高を更新したと発表しました。

CO<sub>2</sub>濃度はWMOが1984年に解析を開始して以降、毎年上昇を続けて

## 18年の世界平均

おり、17年も過去最高を更新していました。

WMOによると、CO<sub>2</sub>の増加は石油や石炭など化石燃料の燃焼や、セメント生産、森林伐採などが主因だといわれています。

他の主な温室効果ガスではメタン、一酸化二窒素の濃度も史上最高を更新しました。

えず、自分が変わろう」と▼2日から始まる国連の気候変動会議を前に実施された気候マーチ。運動を呼びかけた京大生の清間さんは若者の参加が増えたと喜びます。SNSやイベントでつながった大学生や高校生が集まり、それぞれの思いを伝えました▼一刻の猶予も許されないなか、米国の協定離脱など足並みがそろわない現実。最低レベルの削減目標で石炭火力を推進する日本は国連から安倍首相の演説を断られる情けなさ。地球にたいする責任、子どもたちの未来のためにどう行動するか。清間さんをはじめ、世界の若者が見つめています。

（しんぶん赤旗 12月1日付）